

名経大とつくる

地域のげんき!

地域の未来を応援!

2024(令和6)年5月19日
犬山市制70周年記念事業

【特集】継続は進化なり

- 高山市中心市街地の食料品アクセスに関する調査
- 犬山市内4中学校へのキャリア教育
- 扶桑町職員とのワークショップ
- 犬山市制70周年記念事業
- 災害に係る相互連携・協力に関する協定を締結

地域とともに学ぼう!

- 犬山警察署ライディングスクール
- 第7回全国大学生俳句選手権大会



2024(令和6)年9月6日
犬山市内4中学校へのキャリア教育

扶桑町職員とのワークショップ
2024

2024.9.17(火) 名古屋経済大学



2024(令和6)年9月17日
扶桑町職員とのワークショップ

名古屋経済大学地域連携センター NEWS

VOL.26[2024.NOVEMBER]

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

名古屋経済大学は、地域のみなさまとともに持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

リスクに関するまち歩き これまでの取り組み 地域連携センターニュース20号p1

高山市中心市街地の食料品アクセスに関する調査

経済学部村山ゼミでは、岐阜県高山市の中心市街地における食料品アクセスに関する調査を継続して進めてきました。学生たちの調査の結果、数年後に買い物困難が予想される地域が明らかとなり、今年度はその地域にある米穀営業所の一角をお借りしての生鮮食料品の限定販売といった、課題解決のための実践的取り組みへと活動を発展させることができました。

荷物をご自宅まで運ぶお手伝いをしながら、買い物客との会話もはずみ、学生生活に対する励ましをいただくなど、参加した学生たちにとって貴重な体験となりました。



以前高山を訪れた時は、観光客向けの部分しか見れていなかった。今回、住民の暮らしに直結する問題などに触れ、高山市をはじめ地方都市の実情をより知る事ができ、有意義な経験となりました。

経済学部3年 ●今村 悠太

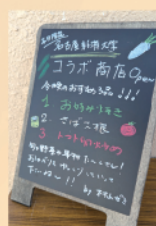
調査へ行く前にインターネットで調べ、高山が有名な観光地であることを知りました。実際に住民の方々と話をしてみると、スーパーなどが少なく、近くの店まで行くのに車がないと移動が大変だと思いました。販売体験では、お客様に話しかけるととてもフレンドリーで、アンケート調査にも協力してくれて嬉しかったです。お客様の荷物を自宅まで歩いて運びましたが、いろいろな話を聞かせてくれました。今回の調査は、私にとって留学中に一番感動した体験になりました。

経済学部3年 ●チェオン ティ タム



2024(令和6)年9月9日(月)～11日(水)
高山米穀協業組合

コラボ 高山米穀協業組合 × 名経大



慣れない場所で、最初は戸惑いながらも来客された地元の方々に丁寧な商品説明と会話をしていたのが素晴らしいという印象でした。店舗に到着時も、陳列の設営を学生たちができばぎと時間内で作り上げる行動力も関心しました。これをきっかけに、飛騨地区地域の活性化が進んでくれば嬉しいです。

高山米穀協業組合 営業企画課 ●黒木 朋久さん



2024年9月12日
中日新聞、2024年9月14日岐阜新聞で活動の様子が紹介されました。

岐阜新聞
2024年9月14日付掲載

1中学校 これまでの取り組み 地域連携センターニュース17号p4

犬山市内4中学校へのキャリア教育

～未来の自分をイメージしよう～

中学生のうちから将来のキャリアについて考え、大学教員の講義や大学生との交流により、大学を身近に感じてもらうことを目的に、犬山市内4中学校(犬山、城東、東部、南部)2年生633名を対象としたキャリア学習を開催しました。本学のキャリアセンター長が今から意識的に身につけていくと良い習慣や、自己分析について全体講義を行い、クラス別学習として「大学生のキャリア」をテーマに中学生と大学生が交流しました。

キャリア学習を開催しました。本学のキャリアセンター長が今から意識的に身につけていくと良い習慣や、自己分析について全体講義を行い、クラス別学習として「大学生のキャリア」をテーマに中学生と大学生が交流しました。



今回 犬山市内 全中学校へ

2024(令和6)年9月6日(金)
名古屋経済大学

犬山市内中学校 × 名経大

コラボ



参加した中学生の声

- ・ 将来について改めて考える機会となった。自分がどんな道を選んでいこうかをまた考えるときなどに活かしていきたい。
- ・ 講義を通して今までとは違うキャリアに対する考え方を持つことができました。
- ・ 大学生がどのような生活や勉強をしているのかがわかり、大学について調べたくなった。

ワークショップのみ これまでの取り組み 地域連携センターニュース20号p4・23号p1

第3回 扶桑町職員とのワークショップ

扶桑町では2024(令和6)年3月から公式LINEを導入し、広報手段のひとつとして活用しています。今年はLINEを活用して地域住民へ効果的な情報発信」をテーマに扶桑町若手職員8名と学生14名が意見交換をしました。町職員から「行政における広報・広聴とは」について説明を受け、町職員と学生が協力してグループ発表。座談会では、まちの姿を知り、地方公務員を身近に感じることができました。



扶桑町若手職員の声

- ・ コスト意識を持ちつつも、コストをかけないと人を引きつけられないと大学生が考えていたのがよいと思いました。
- ・ 非常に積極的な学生が多く、職員ではなかなか気が付けない視点での意見がありおもしろいと感じました。
- ・ 広報は住民の暮らしをよりよくするものと思っていましたが、よりよい広報を行うことで役場への問い合わせなどが減り、日々の業務の効率化にもつながっていることを知りました。



参加学生の声

- ・ 学生の視点と職員の方の視点から異なる意見が出ました。意見を擦り合わせていき発表までうまく持っていくことができて良かった。
- ・ 高齢化が進む中でスマホを用いた広報活動がどれほど難しいか実感しました。今回のLINEについてのテーマに関連した業務についてのお話も聞くことができたのでとても良かったです。
- ・ 役場の職員と話す機会が今までなかったため、公務員志望の私にとってはとても有意義な時間になりました。
- ・ 現在進行形で町が直面している問題に向き合える経験ができて良かった。



2024(令和6)年9月17日(火)
名古屋経済大学

コラボ 扶桑町 × 名経大



60周年 連携事業数0

70周年 連携事業数4

犬山市制70周年記念事業

～名古屋経済大学も参加～

2024(令和6)年4月1日に市制70年を迎えた犬山市では、「市民が真ん中、この日はまるっと1日 犬山三昧」をキャッチコピーに5月18日(土)19日(日)の2日間、市内で様々な記念事業が開催され、本学学生も協力しました。大学が位置する南部エリアでは、犬山市、犬山商工会議所、名古屋経済大学が連携し、大学グラウンドで記念花火を300発打ち上げ、有終の美を飾りました。



レンゲ畑で遊ぼう!



楽田三ツ塚地内
楽田地区では4つのイベントを開催し、スタンプラリーを実施。レンゲ畑で遊ぼう!では、学生が子ども向けブースを手伝いました。

3x3UNITED公式戦
AICHI S.ONEホームゲーム

成田山名古屋別院大聖寺

AICHI S.ONEに所属する本学学生は、プレーの合間にMCとしても活躍しました。



さらさくら健康まつり



市民健康館(さらさくら)
管理栄養学科が食育促進ブースを出しました。



地域の未来を応援！

災害に係る相互連携・協力に関する協定を締結

2024(令和6)年9月30日(月)
犬山市役所

コラボ 犬山市 × 名経大

今夏、南海トラフ地震への警戒が高まったことを機に、平時においての防災に関する研究や災害対応力強化にむけた「犬山市と名古屋経済大学の災害に係る相互連携・協力に関する協定」を締結しました。2021(令和3)年には犬山市と「緊急消防援助隊の活動拠点及び防災ヘリコプター離着陸場としての使用に関する協定」を締結。防災への協力体制がさらに強固なものとなりました。



～非常食をおいしく！ 2024(令和6)年9月25日(水)
レシビ考案中～ 名古屋経済大学

犬山市防災交通課職員を講師にお招きし、災害に対する認識を深めるため「能登半島地震」での被災地の様子や、南海トラフ地震をはじめとした様々な災害への備えについてお話していただきました。これから管理栄養学科2年生が防災食のアレンジレシピを考え、犬山市へ提案していきます。



地域とともに学ぼう！

犬山警察署 ライディングスクール

2024(令和6)年8月9日(金)
名古屋経済大学

コラボ 犬山警察署 × 名経大

運転免許を取得して年数の浅い大学生に二輪車の特性を伝え、学生の事故防止を図ること目的に「ライディングスクール」を開催、本学男子サッカー部40名が参加しました。講義では、元白バイ隊員による二輪車の走行実演だけでなく、警察業務に関する説明もあり、「警察官」を進路選択の一つとして知る機会となりました。



第7回

全国大学生俳句選手権大会

2024(令和6)年9月21日(土)
犬山市民文化会館

コラボ

鈴木しづ子顕彰プロジェクト実行委員会 × 名経大



犬山にゆかりのある俳人鈴木しづ子生誕100年の2018(平成30)年に始められた全国大学生俳句選手権大会も7回目を迎えました。今年は「家族」をテーマに全国から集められた俳句の最終選考会が行われ、本学学生が準グランプリと俳句でふてふ賞を受賞しました。

先輩も受賞しました。



地域連携センターニュース14号p4

準グランプリ
受賞

性格の違う妹 さくらんぼ



経営学部3年
早川 怜奈

準グランプリをいただき、光栄に思います。俳句は難しいというイメージがあり、これまで詠んだことがありませんでした。特別な場面でも自分の生活のふとした瞬間から詠むことができるというところに面白さを感じ、私にとって気軽に楽しむことができる身近なものとなりました。

俳句
でふてふ賞
受賞

スーパーで働く母の 白いシャツ



経営学部3年
佐藤 灯

第7回全国大学生俳句選手権大会で、俳句でふてふ賞を受賞することができました。俳句の知識がほとんどなく、先生方に助けられながら詠んだ句がこのような賞に選ばれてとても嬉しかったです。



学校法人 市邨学園

名古屋経済大学

●お問い合わせ先

地域連携センター TEL0568-68-3282

FAX 0568-67-0724 MAIL chiiki-c@nue.ac.jp

〒484-8504 愛知県犬山市内久保61-1 TEL0568-67-0511(代表)